

有価証券報告書の訂正報告書

本書は、EDINET (Electronic Disclosure for Investors' NETwork) システムを利用して金融庁に提出した有価証券報告書の訂正報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものです。

株式会社ディー・ディー・エス

(359246)

目 次

【表紙】	1
1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】	2
2 【訂正事項】	2
3 【訂正箇所】	2
第一部 【企業情報】	2
第5 【経理の状況】	2
2 【財務諸表等】	2

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 証券取引法第24条の2第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成19年3月30日

【事業年度】 第12期（自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日）

【会社名】 株式会社ディー・ディー・エス

【英訳名】 DDS, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 三吉野 健滋

【本店の所在の場所】 愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目27番2号

【電話番号】 052（533） - 1110（代表）

【事務連絡者氏名】 管理本部管理部長代理 鈴木 達也

【最寄りの連絡場所】 愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目27番2号

【電話番号】 052（533） - 1110（代表）

【事務連絡者氏名】 管理本部管理部長代理 鈴木 達也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成19年3月29日に提出しました第12期（自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日）の有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

2 財務諸表等

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

2【財務諸表等】

重要な会計方針

（会計方針の変更）

当事業年度（自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日）

3.貸借対照表の純資産の部の表示に係る会計基準

（訂正前）

当事業年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準委員会平成17年12月9日企業会計基準5号）および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する企業会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。従来の資本の部に相当する金額は2,218,893千円であります。

（訂正後）

当事業年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準委員会平成17年12月9日企業会計基準5号）および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する企業会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。従来の資本の部に相当する金額は2,207,889千円であります。